

議会報告



市議会議員

堀すみのり

No. 52

自由民主党鹿児島市議会議員団

2018年7月発行

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
TEL.099(216)1435 FAX.099(222)4771

新総合体育館をJR中央駅西口へ 県工業試験場跡地に建設を表明!!

県は、老朽化した県体育館に代わる新総合体育館は、六月の県議会で中央駅西口の県工業試験場跡地が最適であるとの表明を致しました。これまで、狭隘で老朽化した現在の体育館に代わって、コンサートや各種イベントなど、多目的に利用可能な新体育館を建設することで検討されてきましたが、建設場所の選定段階で頓挫している経緯がありました。これまで、中央駅西口の土地利用については、県・市・JR九州・日本郵便の四者でつくる開発連絡会で協議を重ねてきた経緯があります。しかしながら、今回の県知事の表明は突如のことであり、戸惑いを隠せないところでもあります。鹿児島市にとっては、中央駅西口一帯はまちづくりやにぎわいの創設に欠かせない重要な一帯であります。このことを踏まえ市は、県に四者連絡会の開催を要請していましたが、六月二十九日に四者連絡会が開催されました。中央駅西口地区周辺

道路の問題への対応についての意見が出されるなど、今後、各関係者間においてまちづくりについて協議すべき事項等についての共通認識が持たれたようです。引き続き、四者の緊密な連携を図りながら、協議・検討を進めていくことが確認されたとのことでもあります。陸の玄関口にふさわしい都市機能や、にぎわいが感じられる魅力あふれる都市空間など、中央駅西口地区のまちづくりの観点から、交通渋滞への対応や歩行者の安全確保などの課題についても、一体的に協議・検討することも重要なこととなります。さて、今回の定例会個人質疑で、本年五月に成立した「森林経営管理法」についても質疑を致しました。森林経営管理法は、林業の成長産業化と、森林資源の適切な管理の両立を図るため、森林所有者の責務を明確化するとともに、森林所有者自ら管理できない場合は、委託を受けた

市町村が経営管理を行う仕組みを構築することを目的としています。これまでも、森林の管理については適切な維持管理がなされていないという課題が指摘されています。今後においては、自らの森林については責務として、適切な管理ができる様に努めていきたいものです。



中央駅西口付近のJR・県有地等の現況

今回の補正予算は避難勧告支援システム更新事業費等と児童福祉施設の整備に対する補助金及び児童クラブ施設整備事業費等で、補正額10億7,022万5千円を追加し、
総額で2,520億5,622万5千円となりました。

補正予算の内容

(単位：千円)

費目	事業内容	補正額
総務費	避難勧告支援システム更新事業	34,400
	コミュニティ助成金（清和校区）	2,500
民生費	放課後児童健全育成事業	10,473
	児童クラブ施設整備事業	189,336
	児童福祉施設整備費等補助金	833,516

条例その他の案件

- 鹿児島市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例一部改正の件
 （介護保険法の一部改正に伴い、関係条例の整理をするもの）
- 鹿児島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
 （介護保険法施行規則等の一部改正に伴い、関係条文の整備をするもの）
- 鹿児島市介護保険条例一部改正の件
 （介護保険法施行令の一部改正に伴い、関係条文の整理をするもの）
- 鹿児島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件など2件
 （児童福祉法に係る省令の一部改正に伴い、関係条文の整備をするもの）
- 鹿児島市子ども医療費助成条例一部改正の件
 （市町村民税非課税世帯の未就学児の医療費について、医療機関等での窓口負担をなくすとともに、関係条例の整備をするもの）
- 都市公園を設置すべき区域の決定に関する件
 （公園管理者以外の者が公園施設を設置するに当たり、都市公園を設置すべき区域を決定するについて、議会の議決を求めるもの）
- 鹿児島市公園条例一部改正の件
 （都市公園法の一部改正に伴い、都市公園に設ける公募対象公園施設である建築物の敷地面積に関する制限の率及び同施設の設置許可等に係る使用料を定めるもの）
- 鹿児島市営住宅条例一部改正の件
 （住宅等及び共同施設の管理を指定管理者に行わせるため、条文の整備をするもの）
- 鹿児島市税条例等一部改正の件
 （地方税法の一部改正に伴い、個人市民税の基礎控除等及び市たばこ税の税率の見直し等をするもの）
- 自動車購入の件2件
 （消防ポンプ自動車及び救助工作車を購入するについて、議会の議決を求めるもの）
- 専決処分の承認を求める件
 （平成30年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号の専決処分の議会報告と承認を求めるもの）
- 教育委員会委員の任命について同意を求める件
- 公平委員会委員の選任について同意を求める件

堀すみのり議員の個人質疑から

◎公共交通不便地対策について

質疑 ● 検討されている運行見直し案は

答弁 ○ 今回の見直し案については、瀬々串校区における運行形態を「あいばす」から予約型乗合タクシーへ変更することとし、先般、地域の皆様からご了解を頂いたところである。

質疑 ● 今後のスケジュールは

答弁 ○ 今後については、今年(6月)下旬開催予定の地域公共交通会議において、見直し案について承認を得られれば、本年10月の運行開始を目前に、準備を進めてまいりたい。



◎農業振興について

質疑 ● 都市農業センターの試験研究や大学との連携による研究成果を踏まえ普及された農作物の生産状況と販路拡大の取組み

答弁 ○ 当センターで実証された軟弱野菜などは、市内の農家に広く普及し、生産されている。また、大学との連携により、山ホウレンソウなどが新たな作物として生産されている。販路拡大については、県や市場、JAなどに協力して取り組んでいる。

質疑 ● 新規就農者育成のための研修実績と就農者の経営状況と課題。また研修受講後の営農指導体制

答弁 ○ 平成15年度から3ヶ月間の技術研修を行っており、20名の方が受講し、その多くが就農している。就農当初に比較し、現在は規模拡大や生産技術の習得に努め、認定農業者として活躍している農家もある。課題としては、優良農地の確保や技術の習得、機械・施設の整備などを計画的に行い、経営を安定させていく取組が重要である。営農指導体制は、農林事務所を中心

に、県やJAなど関係機関とも連携しながら営農指導を実施している。

質疑 ● 自給的農家など小規模経営農家の育成支援の現状と課題

答弁 ○ 地域ごとの水稲管理講習会や生産グループごとの野菜栽培研修会、農産直売所での販売検討会などを通じて、営農活動の支援を行っている。課題としては、高齢化や後継者不足などにより遊休農地の発生や農村地域の活力低下などが懸念される。

質疑 ● 今後の小規模経営農家育成の考え

答弁 ○ 兼業農家など経営規模が小さい農家も、生産活動を通じて、農地の維持や地域の活性化に貢献しており、農村地域を支える大事な担い手である。今後とも、きめ細かな営農指導や農地の利活用について、JAなどとも連携し、積極的に取組んでいく。

◎国道226号「瀬々串北歩道整備事業」について

質疑 ● これまでの事業の経緯について

答弁 ○ 平成25年1月に、地元から市長あてに歩道整備の要望書が提出され、同年2月に国へ進達を行い、その後、地元・国・市で合同点検や歩道整備に関する協議を行い、28年度に事業化された。

質疑 ● 事業の範囲と概要は

答弁 ○ 国によると、28年度に事業化された先行着手区間は、延長300メートルで、幅員2.5メートルの歩道整備と、車道拡幅により、道路幅員を10.5メートルに整備することのこと。

質疑 ● 工事の期間は

答弁 ○ 国によると、29年度から工事に着手しており、今後も予算の確保に努め、早期完成を目指すとのこと。



自然災害から身を守るために **細心のご注意を!!**



土砂や倒木が線路と国道へ流れ込んだ状況

6月23日の大雨により、喜入前之浜町のJR指宿枕崎線沿いの斜面が崩れ、土砂や倒木が線路を越えて、国道226号まで流れ込みました。幸いなことに、列車や車が災害に巻き込まれることも無く、安堵いたしました。

“災害はいつ発生するかわからない” 常々に言われることですが、今回の土砂災害で認識を新たにさせられることでした。

今後においても大雨や台風が懸念される場所です。万全の体制を整えておきましょう。

応募してみませんか

「喜入の景観を対象にしたフォトコンテスト」



「喜び入るまち喜良輝良（きらきら）きいれ実行委員会」は、自然豊かな喜入の魅力を写真でPRすることで、喜入地域の活性化に繋げていこうという狙いで、初めての取組みとして、フォトコンテストの作品を募集しています。喜入の魅力の再発見に繋がってくるのではないのでしょうか。

※応募要件

- ・一般の部と高校生以下の部（1人2点まで）
- ・サイズはL判以上、カラー
- ・締切りは、30年8月31日（消印有効）
- ・詳しくは、かごしま市商工会喜入支部
（鹿児島市喜入町7005 TEL 099-345-2120）

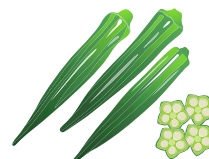


編集 後記

「オクラの効能」

「オクラ」は効能として糖の吸収をゆっくりさせる働きがあるので、糖尿病予防に役立つということです。

最近では、オクラを一晩漬けた水を飲む「オクラ水」が話題となっているそうです。オクラから抽出されたネバネバ成分は、血中の糖分や脂肪分を包み込み、サラサラ血液の維持に役立つということです。



※市政に対するご意見・相談等は、

堀 純則（099-343-0823）へ TEL・FAX ください。